

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分  
 【発行日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【公表番号】特表2002-523621(P2002-523621A)  
 【公表日】平成14年7月30日 (2002.7.30)  
 【出願番号】特願2000-566481(P2000-566481)  
 【国際特許分類】  
     C 2 2 C 21/06 (2006.01)  
 【F I】  
     C 2 2 C 21/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マグネシウム ( M g ) 5 ~ 6 重量 %、  
 ジルコニウム ( Z r ) 0.05 ~ 0.15 重量 %、  
 マンガン ( M n ) 0.7 ~ 1 重量 %、  
 チタン ( T i ) 0.01 ~ 0.2 重量 %、  
スカンジウム、イットリウム及びランタニド元素からなるグループより選択される少なくとも 1 種の元素であって、少なくともスカンジウム ( S c ) と少なくとも 0.005 重量 % のセリウム ( C e ) とを含む、合計 0.05 ~ 0.5 重量 %、  
 残余であるアルミニウム ( A l )、および  
 最高 0.2 重量 % の珪素 ( S i ) を含む不可避免的な不純物を含むことを特徴とする、高マグネシウム含量アルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 2】 スカンジウム含有量に対するマンガン含有量の比が、2 より小さいことを特徴とする、請求項 1 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 3】 少なくとも 0.15 重量 % のスカンジウム ( S c ) を含んでいることを特徴とする、請求項 1 または 2 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 4】 1 種またはそれ以上のランタニド元素を 0.05 ~ 0.45 重量 % 含有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 5】 前記 1 種またはそれ以上のランタニド元素が、セリウム ( C e )、ネオジウム ( N d )、ユーロピウム ( E u )、ガドリニウム ( G d )、ジスプロシウム ( D y )、ホルミウム ( H o )、またはエルビウム ( E r ) であることを特徴とする、請求項 4 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 6】 スカンジウム族元素より選択される少なくとも 1 種の元素としてテルビウム ( T b ) を含んでいることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 7】 請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載のアルミニウム - マグネシウム合金から成ることを特徴とする、車両用の圧延され、押出し成形され、溶接されまたは鍛錬された構造部材。